

生命科学の基礎・基盤連携施策群 全体の概要紹介

科学技術連携施策群

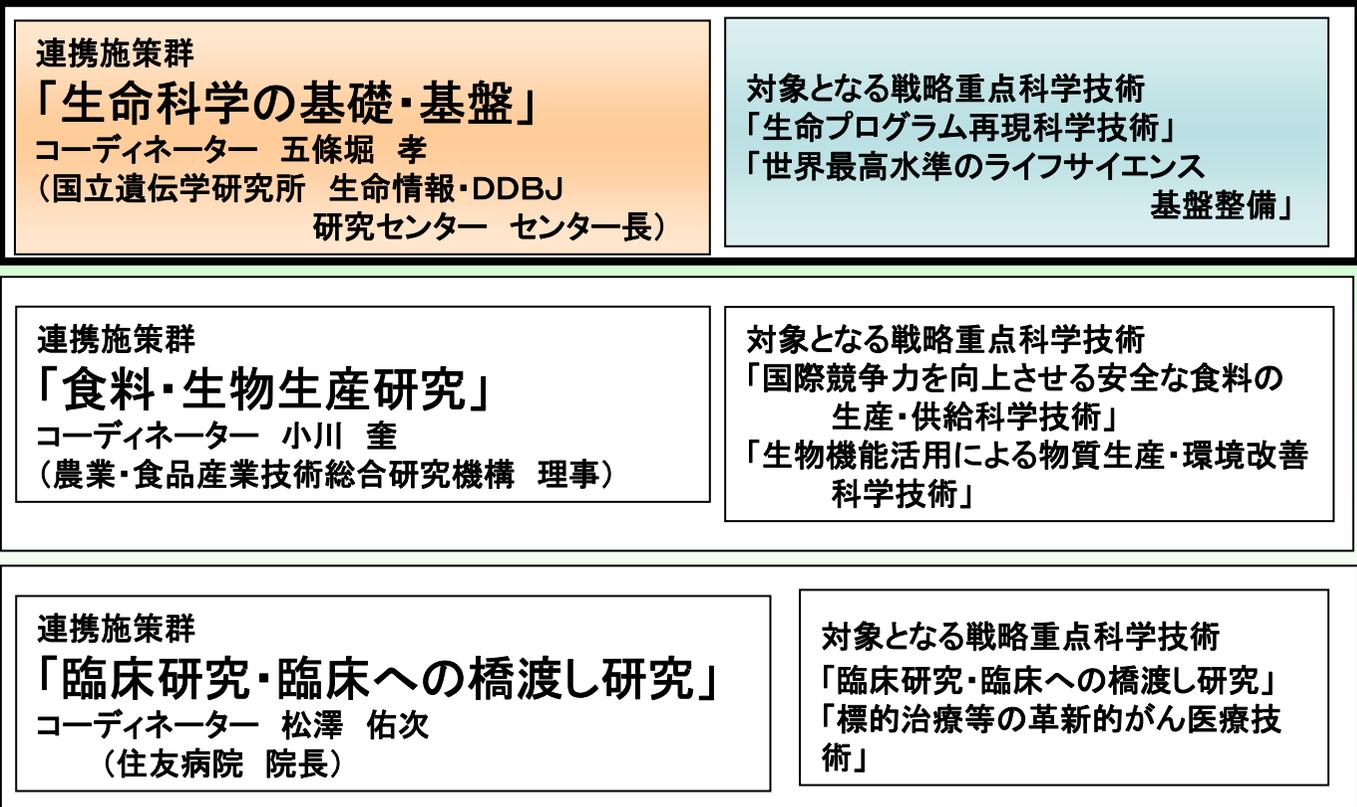
生命科学の基礎・基盤連携施策群

主監 五條堀 孝

平成19年度におけるライフサイエンスPT下連携施策群

補完課題(平成17年度採択)
「生命科学分野のデータベース統合に関する調査研究」

(旧)連携施策群
ポストゲノム



平成18年度

平成19年度

生命科学の基礎・基盤連携施策群

目 標

世界最高水準の研究開発環境を提供するライフサイエンスデータベースの構築を中心とした、ライフサイエンス研究における国際的優位性の確保を目標とする。

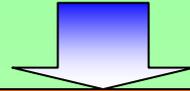
対象とする各省主要施策

- ・バイオインフォマティクス推進センター(文)
- ・統合データベースPJ(文)
- ・ゲノムネットワークPJ (文)
- ・ナショナルバイオリソースPJ(文)
- ・創薬基盤総合研究(厚)
- ・ゲノム創薬加速化支援バイオ基盤技術開発PJ(経)
- ・糖鎖活用技術開発PJ(経)
- ・機能性 RNA PJ(経)
- ・農林水産生物ゲノム情報統合データベースPJ(農)

等

ライフサイエンス分野のデータベース統合化の流れ

平成17年8月 平成17年度のポストゲノム連携群の補完課題を「ライフサイエンス分野のデータベース統合化に関する調査研究」と決定



公募、審査

平成17年10月 科学技術振興調整費審査部に於いて採択課題の決定
課題名：「生命科学データベース統合に関する調査研究」（平成19年度まで）
研究代表者：情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 教授 大久保公策
参画機関：国立がんセンター、(独)産業技術総合研究所、(独)農業生物資源研究所（平成18年度から東京大学）

平成17年12月 平成17年度第1回タスクフォース 議事内容：補完課題の新年度体制について

平成18年3月 分野別推進戦略 ライフサイエンス分野

戦略重点科学技術

⑦「世界最高水準のライフサイエンス基盤整備」

重要な研究開発課題

③⑧「生命情報統合化データベースの構築に関する研究開発

平成18年5月 平成18年度第1回タスクフォース 議事内容：補完課題の平成17年度成果報告及び今後の進め方について

平成18年11月 平成18年度第2回タスクフォース 議事内容：補完課題の平成17年度中間報告及び今後の進め方について

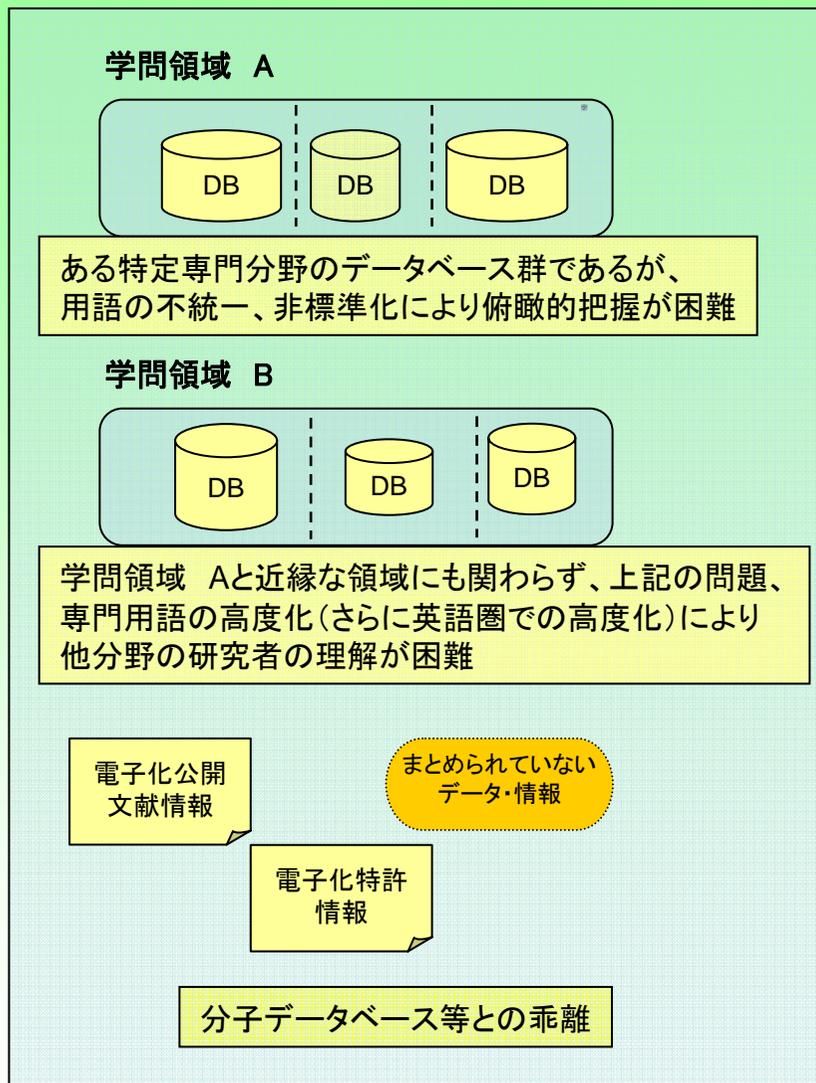
平成19年2月 平成18年度第3回タスクフォース 議事内容：統合データベースの概念設計について(1)

平成19年2月 平成18年度第4回タスクフォース 議事内容：統合データベースの概念設計について(2)

平成19年2月 平成18年度第5回タスクフォース 議事内容：統合データベースの概念設計について(3)

ライフサイエンスの統合データベースのイメージ

現状



知識の俯瞰・融合が困難

